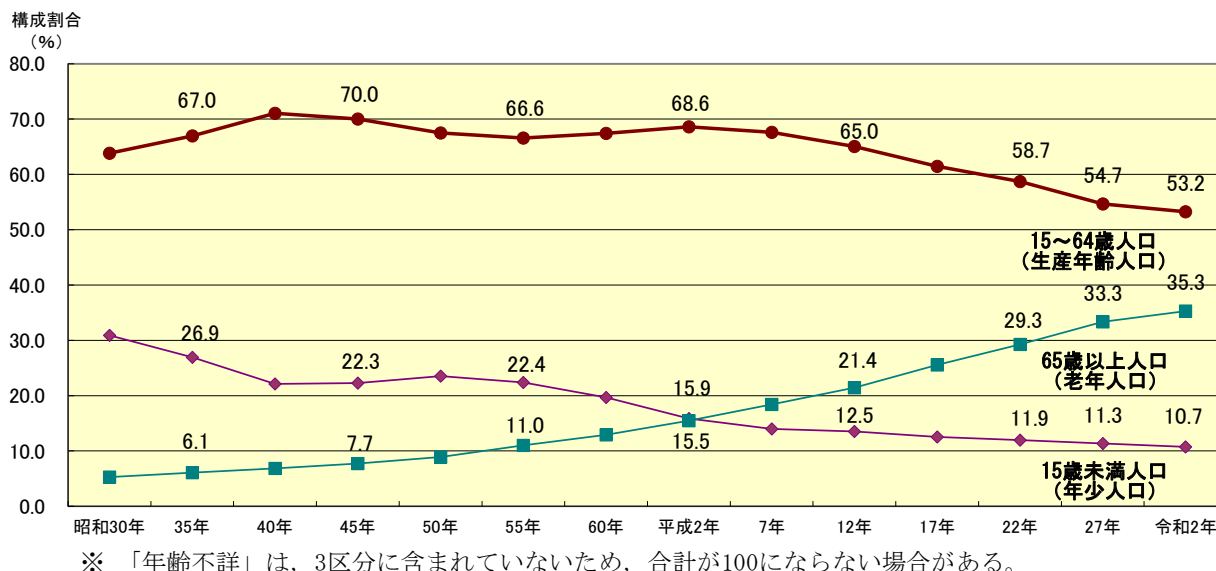


図4-1 年齢（3区分）別人口構成比の推移



地区別状況（表4-2, 4-3）

○ 15歳未満人口（年少人口）

広地区が14.1%と最も高く、次いで郷原地区が12.3%，中央地区が12.2%となっています。一方、最も低いのは豊地区で3.3%，次いで豊浜地区が3.9%，蒲刈地区が4.4%となっています。前回調査と比べると、中央及び警固屋地区以外の地区で減少しています。

○ 15～64歳人口（生産年齢人口）

広地区が59.4%と最も高く、次いで郷原地区が56.2%，中央地区が55.7%となっています。一方、最も低いのは豊浜地区で23.8%，次いで豊地区が27.5%，蒲刈地区が32.3%となっています。前回調査と比べると、郷原及び天応地区以外の地区で減少しています。

○ 65歳以上人口（老年人口）

豊浜地区が72.2%と最も高く、次いで豊地区が69.1%，蒲刈地区が63.2%となっています。一方、最も低いのは広地区で25.5%，次いで郷原地区が31.2%，中央地区が33.3%となっています。前回調査と比べると、すべての地区で増加しています。

表4-2 年齢（3区分）別で各区分の構成割合が高い地区・低い地区（単位：%）

	15歳未満（年少人口）		15～64歳（生産年齢人口）		65歳以上（老年人口）	
割合が高い地区	広	14.1	広	59.4	豊浜	72.2
	郷原	12.3	郷原	56.2	豊	69.1
	昭和	12.2	中央	55.7	蒲刈	63.2
	天応	11.3	天応	53.8	倉橋	54.0
	吉浦	10.5	吉浦	53.8	下蒲刈	53.9
割合が低い地区	豊	3.3	豊浜	23.8	広	25.5
	豊浜	3.9	豊	27.5	郷原	31.2
	蒲刈	4.4	蒲刈	32.3	中央	33.3
	下蒲刈	4.7	倉橋	40.5	天応	34.7
	倉橋	5.4	下蒲刈	41.3	昭和	34.9